

2016年
発 足

第 12 回事業 中部支部設備女子会
設立 10 周年記念事業

CPD 認定

『三菱電機ビルソリューションズ稲沢ビルシステム製作所』
『見学会』&『交流会』
報告書

【第 12 回 見学会報告】

日時：2026 年 5 月 22 日(金) 14 時～16 時 50 分 (集合：13：35 稲沢駅西口 いなっぴー前)

会場：三菱電機ビルソリューションズ稲沢ビルシステム製作所〔稲沢市菱町 1 番地〕

主催：(一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会

後援：(順不同)

- ・(公社) 空調調和・衛生工学会中部支部
- ・(一社) 日本空調衛生工事業協会東海支部
- ・(一社) 電気設備学会中部支部
- ・(一社) 日本電設工業協会東海支部
- ・(一社) 日本設備設計事務所協会連合会東海ブロック協議会
- ・(一社) 日本建築学会東海支部

協力：三菱電機株式会社 中部支社 事業推進部

三菱電機ビルソリューションズ株式会社 中部支社 営業部

取材新聞社名：建通新聞社、中部経済新聞社(以上 2 紙、順不同)

参加者数：30 名(女性 26 名 男性 4 名)

参加者所属企業：トーエネック、大冷工業、新日本空調、ゼネラルヒートポンプ工業、日比谷総合設備、安井建築設計、大気社、清水建設、朝日工業社、大林組、大成建設、丸水設備、(株)中部、UR リンゲージ、藤原工業(以上 15 社、順不同)

〔プログラム〕

《受付》(一社) 建築設備技術者協会中部支部理事 水野孝政【丸水設備(株)】

《司会/写真》(一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 中野由美【(株)大林組】

1. 開会 挨拶

(一社) 建築設備技術者協会中部支部 支部長代理 鈴木章司【(株)中部】

2. 主催者挨拶

(一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会代表 藤原永知子【藤原工業(株)】

3. 歓迎ご挨拶

三菱電機ビルソリューションズ(株) 稲沢ビルシステム製作所 営業部 国内営業課長 潮田哲男様

4. 施設概要説明

三菱電機ビルソリューションズ(株) 稲沢ビルシステム製作所 営業部 国内営業課 吉川航生様

5. 施設見学

エレベーター試験棟「SOLAÉ(ソラエ)」、自動制御・エスカレーター等工場製造ライン

6. 質疑応答

7. 建築設備技術者協会の紹介と事業案内

(一社) 建築設備技術者協会中部支部理事設備女子会担当マネージャー 内海徹【(株)大林組】

8. 閉会挨拶

(一社) 建築設備技術者協会中部支部理事設備女子会担当マネージャー 安田勝彦【大成建設(株)】

【第 14 回交流会報告】

日時：2026 年 5 月 22 日(金) 17 時～19 時

会場：いなほ荘 〔三菱電機ビルソリューションズ稲沢製作所内〕

主催：(一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会

協力：(一社) 建築設備技術者協会中部支部、三菱電機(株)中部支社事業推進部、

三菱電機ビルソリューションズ(株)中部支社営業部

会費：5000 円(税込)

参加者数：27 名(女性 22 名、男性 5 名)

〔プログラム〕

《司会》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会代表 藤原永知子【藤原工業(株)】

1. 開会あいさつ (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 中野由美【(株)大林組】
2. 乾杯ご挨拶 ご来賓：三菱電機(株) 中部支社 事業推進部 総合営業課 寺本彩人様
3. 歓 談 ご来賓：三菱電機ビルソリューションズ(株) 中部支社 新美万葉様
4. 閉会あいさつ (一社) 建築設備技術者協会中部支部理事 水野孝政【丸水設備(株)】

【見学会・交流会開催概要】

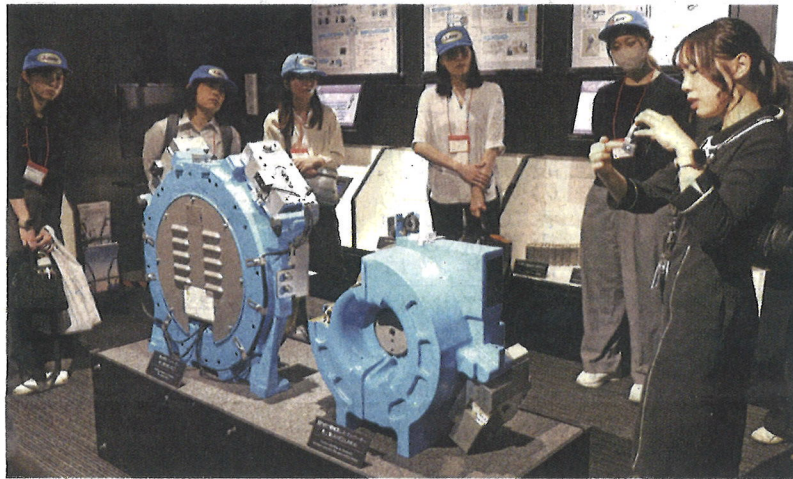
今年、中部支部設備女子会は発足から 10 年を迎えた。最初の活動は交流会から始まった。2016 年 5 月 26 日オバマ大統領が中部国際空港に到着し、安倍首相と伊勢志摩で会談する日であった。名古屋や三重の駅周辺を中心に全国の警察官が集まり厳戒態勢の中での交流会だったことで、活動初日をより色濃くし、思い出深い。10 年後の現在、トランプ大統領の再選、高市総理大臣が女性初の首相就任と時代の変化を感じるものである。発足当初は、建設業の女性活躍推進といわれていた時代で、LGBTQ+やダイバーシティという言葉はまだ一般的に使用されることばではなかった。『女子会』というネーミングセンスについては、関東(本部)に倣ったものであったが、この 10 年の間にさまざまなご意見をいただいていた。議論が何周も周回した結果、中部支部では多方面多角的多様性すべてを受け入れた結果、非常にシンプルな考えとなり、飲食店でのメニューにある《レディースセット(男性も頼めます)》という会の方針で運営してきている。これは、設立当初より、中部支部理事の複数の男性が女子会運営に携わり、女子会運営委員として男性が活動し続けていることが大きい。記念すべき 10 周年事業は、エレベーターやエスカレーターの専門工場のトップリーダー「世界に誇る三菱昇降機のマザー工場 稲沢ビルシステム製作所」の見学会とした。三菱エレベーターの試験塔「SOLAÉ(ソラエ)」高さは稲沢市(イナザワ：173.0m)にちなんで 173 メートル。約 40 階建のビルに相当する。この試験塔エレベーターに参加者が実際に乗り、超高速、駆動制御性、安全性、乗り心地等を体験することができた。展望台では、巻き上げ機を見学し、景色は、名古屋市内の高層ビルまで見渡せた。参加者から借りた 10 円玉を立て、エレベーターでの移動中でも倒れない技術には驚き、歓声が沸いた。世界で唯一日本の三菱電機だけが製造している曲がるエスカレーター『スパイラルエスカレーター』はデザイン性にすぐれ、海外の高級百貨店やホテルに取り入れられている日本が誇る技術であると知った。ショールーム見学では、ロボットがエレベーターを昇降したり、セキュリティエリアへの入退室管理システムの説明を受けたりした。製作工場見学では、自動制御盤の製作作業を実際に見せてもらった。出荷直前のエスカレーターの最終調整点検作業も見学することができ、有意義であった。質疑応答では活発な質問がでていた。交流会では、部屋を貸切ることができ、東京や大阪からの参加者を含めてにぎやかに懇親を深めることができた。参加者は、リピーターが半分、初めて参加が半分という構成であった。発足して 10 年にもなるが、毎回、事業には満席のお申込みをいただき、交流会への参加率も高い。設備業界に関わる女性が、ゆるくつながる柔軟な会として運営してきた結果であろう。今後どのように存続していくのか、「発展的解消」を遂げるのか、全国の設備女子会と連携し考えていく時期である。



建通新聞 中部

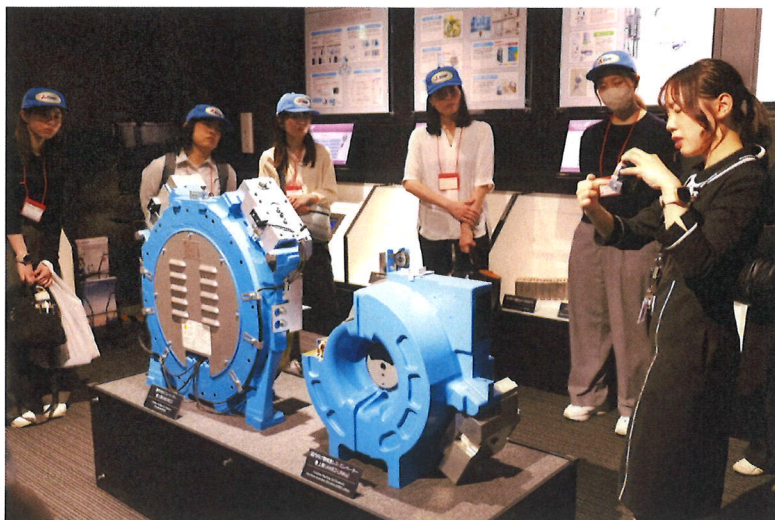
稲沢市で「設備女子会」、 昇降機の仕組みへの理解深める

見学会の様子



空へー。22日に稲沢市で開かれた「設備女子会」に約30人の女性設備技術者らが参加し、昇降機の仕組みや技術、ビルマネジメントシステムなどへの理解を深めた。三菱電機ビルソリューションズの「マザー工場」である稲沢ビルシステム製作所で、高さ173mのエレベーター試験塔や同塔に隣接するショールーム、工場を見学。参加者が大きな関心を寄せていたのは、施設内に設置され、曲線を描きながら動く「スパイラルエスカレーター」。同社のみが製造技術を持つエスカレーターに参加者たちは興奮した様子で、仕組みや設置費用などについて質問していた。イベントは建築設備技術者協会中部支部が主催し、開催は12回目となった。

設備女子会 M E B S稲沢ビルシステム製作所を見学



見学会の様子

空へー。5月22日に稲沢市で開かれた「設備女子会」に約30人の女性設備技術者らが参加し、昇降機の仕組みや技術、ビルマネジメントシステムなどへの理解を深めた。三菱電機ビルソリューションズの「マザー工場」である稲沢ビルシステム製作所で、高さ173mのエレベーター試験塔や同塔に隣接するショールーム、工場を見学。参加者が大きな関心を寄せていたのは、施設内に設置され、曲線を描きながら動く「スパイラルエスカレーター」。同社のみが製造技術を持つエスカレーターに参加者たちは興奮した様子で、仕組みや設置費用などについて質問していた。イベントは建築設備技術者協会中部支部が主催し、開催は12回目となった。

尾張・知多

稲沢の昇降機工場を見学

建築設備技術者協中部支部の設備女子会

【尾張】

一般社団法人建築設備技術者協会中部支部(名古屋市の設備女子会)は22日、稲沢市の三菱電機ビルソリューションズ稲沢ビルシステム製作所を見学した。設計会社や設備工

事会社などから約30人が参加した。見学先の同製作所はエレベーターやエスカレーター、ビル管理などの設備機器を生産。関連会社を含め約3千人が働いており、昇降

エレベーターの駆動装置の説明を受ける参加者



機を造るマザー工場として世界90カ国以上に製品を供給している。

参加者らは、シヨールムで昇降機が動く仕組みなどを学んだほか、製造現場も見学。また、同製作所敷地内にある高さ約173階のエレベーター試験棟「ソラエ」を訪れ、世界最高レベルの技術力を体感した。

同協会は、建築設備士や設備設計1級建築士らで構成する団体。設備女子会は2016年に発足し、女性の資格保持者を増やすことなどを目的に、研修会や親

睦を深める活動を展開している。見学会は12回目。